

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2020

7

第34巻7号
(通巻395号)



地球の表面のおよそ7割が海、3割が陸地ですが、森林は陸地の3分の1程度で地球全体の約1割にし
かすぎません。しかし日本は森林に恵まれていて、国土に占める森林の割合（森林率）は約68%と先
進国の中ではフィンランドに次ぐ世界第2位です。日本に森林が多いのは、利用がむずかしい険しい山が
多いためです。国土のおよそ75%を山地が占めていて、源流のある山地から河口まで途切れることなくき
れいな水が流れる河川がたくさんあります。河口までの距離が短いためほとんどが急勾配の河川になっ
ていて、多くの滝を有するのも特徴です。写真の「銚子大滝」は美しい景観で知られる奥入瀬溪流浴い
にある落差7メートル幅20メートルほどの滝です。深い森に包まれた水量豊富な滝にこころが癒されます。



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1
説明と納得の
医療

2
多職種の連携

3
「こころよさ」の追求

4
社会参加の推進

「人類対ウイルス」闘いの物語

歴史的な出来事として記録されているだけでも、14世紀に流行したペスト、15世紀には梅毒、17、18世紀にかけて天然痘、近代でも結核やコレラなどさまざまな感染症と人類は闘ってきました。

紀元前3000年にチグリス・ユーフラテス川領域のシュメールというところで麻疹の流行があったという記録があり、その後麻疹は世界に広がっていますが、シュメールで起こってから、日本で記載があるのは平安時代の紀元後の1000年くらい。日本まで到達するのに実に4000年くらいかかっていることになりました。

その他に、旧約聖書のレビ記13章に登場しています。「もし、皮膚に湿疹、斑点、疱疹が生じて、皮膚病の疑いがある場合、その人を祭司のところへ連れて行く。祭司は、患者を施設に留め置く」。これは、麻疹についてかもしれないが、つまり隔離しなさい、と言っているのです。預言者マホメットの言葉にも「汝ら、もしある国に疫病が存在していると知ったならばそこへ行つてはならぬ。だが、もし疫病が汝らの今いる国に発生したならば、そこを離れてはならぬ。疫病で斃れるものは殉職者である」とあります。感染症とい

う言葉はありませんが、こういう症状を呈したら隔離する、あるいは他の人に感染させてはいけないということが、旧約聖書の時代にすでに行われていたということです。

日本でも江戸時代には麻疹は「命定め」、天然痘は「見目定め」と言われていました。天然痘はあばたと云って特有の痕が残りますが、麻疹のほうが、死者が多く恐れられていたようです。

このほか、安政コレラと言つて1858年に日本でコレラが大流行したことがあります。ペリーの艦隊が持ち込んだと言われていますが、この時、江戸時代の死者は数万人。日本でもコレラが大流行した時期があつたのです。

感染症の正体がわからなかつた時代、疫病は天から降ってくるものでした。インフルエンザの語源は「influenza」と同じで、「in」＝中に、「flow」＝流れ込んできたものという意味です。インフルエンザウイルスは、1929年にブタで、1933年には人で発見されましたが、その昔は、星の位置が私たちに影響を与えると思われていたのです。

(クロ)



新型コロナウイルス感染予防対策のため、令和2年4月から5月にかけて入院患者様への面会を禁止しておりました。現在(6月時点)は制限を緩和しております。感染予防対策に変更などがある場合は随時ホームページでお知らせいたしますのでご覧ください。

ご理解ご協力いただきありがとうございます。

ケアプロセス全体会議

峡西病院では、各職種間で業務の共有化をしてチーム医療を円滑にするために、月1回各病棟で「ケアプロセス会議」を実施しています。1つの症例を抽出して入院から退院までの一連のプロセスを確認し、生じた課題と考えられる改善方法、または、良かった関わりなどを振り返っています。

各病棟で振り返ったケアプロセスを病院全体に発表する「ケアプロセス全体会議」が6月10日(水)に開催されました。通常は3か月に1回全体会議が行われていますが、新型コロナウイルスの影響もあり久しぶりの開催となりました。

今回発表を担当したのは、療養病棟であるクレル病棟でした。治療・食事管理等の必要性があるものの、病院のルールを守れない状況があり、スタッフが関わりに苦戦したという症例でした。病棟での治療継続は困難であつたものの、本人を交え繰り返し関係者会議を実施して課題に向き合つたこと、退院後は地域のスタッフが手厚くサポートをしてくれており穏やかに生活できていることなどが良かった点として挙げられました。

ケアプロセス全体会議では症例検討と共に診療録監査も行われています。今後も定期的に日頃の業務を見直し適切なケアが行えるよう取り組んでいきます。

令和元年度 目標管理発表会

最優秀賞

- 一般就労に向けた学習会を就労事業所と協働して実施する **和泉 和仁** (きづなグループ)

敢闘賞

- 業務マニュアルの見直しを行い、業務を最小化し、ゆとりを持ち患者に接する時間を増やす **深澤 文江** (リスタート病棟)
- 外来・リスタート病棟入院患者の家族に向けた認知症家族教室を開催する **川口 敦、塩澤千晶、丹澤裕奈** (地域連携室・医療相談室)
- ユマニチュードを活用し“その人らしさ”を大切にされた看護・介護を行い安心した入院生活を提供していく **井上亜沙美** (リスタート病棟)

殊勲賞

- コンチネンスケアを取り入れ各利用者に合った排泄方法やオムツの提供を検討していく **石川朋子、雨宮尚登** (峡西老健)
- デイケア利用者がリハビリテーションセンターへ安心・安全に移行できるよう、情報紙を発行し情報共有を行う **八木澤ひかり** (デイケア)
- 認知症ケアで南アルプス市に貢献～認知症になっても暮らし続けられる地域を目指して～ **田艸川智恵美** (ケアポート峡西)

技能賞

- 自宅退院を目指す患者に対し、自分の病気の理解を深め治療に参加できるように、個別ファイルを活用していく **河西江里子** (アスピール病棟)
- 音楽に合わせて体を動かし、患者と関わりを持つように心がけ、脳や心、体の健康を取り戻す **有野 光恵** (リスタート病棟)
- ユマニチュード技法「立つ」に取り組み、患者の症状や身体機能の向上を図る **清水 智彦** (リスタート病棟)

令和元年度 目標管理発表会

当法人ではより良い病院、施設づくりのために、職員一人ひとりが一年間の目標を掲げ取り組んでいきます。その取り組みを発表する目標管理発表会が6月2日に開催されました。今回は新型コロナウイルスの影響で「3密」を避けるため、テレビ会議システムを利用し、会場を4つに分けて発表を視聴しました。

発表したのは10組(13人)。どの目標も新しい手法を取り入れ、患者様や利用者の方との関わりをより良くする取り組みでした。審査の結果、左記のように表彰が決まりました。おあしすでは、来月号から受賞者の取り組みを順次掲載していきます。



精神科リハビリテーションセンター

今回は**復職準備型グループ**を紹介します。

復職準備型グループの特徴・コンセプト

- * 現在休職中で復職を目指している方が対象です。
- * 復職準備型グループでは、復職支援に特化したリハビリを通じて、円滑な職場復帰と再休職予防を目指しています。

復職準備型グループの1週間の流れとプログラム

	月	火	水	木	金
9:00~	タイムカード・活動準備・体調確認など				
9:15~	朝礼 (連絡事項の共有・スケジュール確認)・ラジオ体操				
9:30~	自主活動 (個別課題など) 				
10:30~	運動系プログラム  復職に向けた体力づくりをスポーツを通して取り組む。	コミュニケーショントレーニング グループワークなどを通して、他者とのコミュニケーションの練習を行う。	リワークミーティング  復職の不安・悩みなどを共有し、解決方法を見出していく。	認知行動療法 / WRAP 認知行動療法とWRAP (元気回復行動プラン) を隔週で交互に学ぶ。	1週間の振り返り個別課題発表 仕事の取り組み方の振り返り等、期限内に個別課題をまとめ、発表する。
13:30~	個別面談 / 課題 リハビリ状況や目標、課題の共有復職への手続きの確認などを行う。	認知機能リハビリ 認知機能 (集中力、記憶力、作業効率など) の改善プログラム。	リワーク心理教育 疾病理解や症状の自己管理が出来るよう、ストレス対処などを学ぶ。	認知機能リハビリ 	リラクゼーション / プレミアムフライデー * 休憩やリラクゼーション方法の練習。 * 余暇や気分転換の幅を広げる様々な活動を楽しみながら行う。
15:30~	自主活動 (個別課題など) 				
16:30~	終礼 (連絡事項・1日の振り返り・気づきの共有など)				

興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。

☎ 055-282-2151

ろうけん Times ★

外出も出来るようになり気分転換にドライブに行ったりオレンジ広場にてBBQしたりボーリング大会をしたりと各階それぞれグループ活動を楽しみました。



新 入 社 員 紹 介

平山 カオル

- 職種：調理員
- 所属：栄養グループ
- ◆ 出身地…神奈川県横須賀市
- ◆ 趣味…家庭菜園
- ◆ 好きな有名人…佐藤健

門脇 恵美子

- 職種：調理員
- 所属：栄養グループ
- ◆ 特技…美容師の経験を生かしカット・パーマは自分でしています
- ◆ 座右の銘…初心忘れるべからず
- ◆ 好きな食べ物…鶏肉料理

秋山 八重子

- 職種：調理員
- 所属：栄養グループ
- ◆ 好きな食べ物…お寿司
- ◆ 好きな色…白・ベージュ
- ◆ 好きな言葉…感謝

渡辺 晴美

- 職種：調理員
- 所属：栄養グループ
- ◆ 出身地…身延町
- ◆ 趣味…園芸
- ◆ 好きな食べ物…チョコレート

坂本 萌乃

- 職種：診療情報管理士
- 所属：法人企画
- ◆ 出身地…山梨県
- ◆ 趣味…パズル、カフェ巡り
- ◆ 好きな場所…家

小野寺 眞有

- 職種：精神保健福祉士
- 所属：相談グループ
- ◆ 趣味…恐竜・ドラム
- ◆ 好きな食べ物…アイスクリーム
- ◆ 好きな場所…雨の日の映画館

澤登 祐弥

- 職種：看護師
- 所属：リスタート病棟
- ◆ 出身地…山梨県南アルプス市
- ◆ 趣味…旅行
- ◆ 好きな色…黄色

石田 知子

- 職種：看護師
- 所属：リスタート病棟
- ◆ 趣味…ペット(カメ)の世話
- ◆ 好きな色…空色
- ◆ 好きな有名人…EXIT

坂本 桂花

- 職種：看護師
- 所属：リスタート病棟
- ◆ 出身地…愛知県
- ◆ 趣味…ライブ、カラオケ、ドライブ
- ◆ 好きな有名人…ポルノグラフィティ、SPYAIR

米山 里穂

- 職種：看護師
- 所属：アスピール病棟
- ◆ 出身地…静岡県富士市
- ◆ 趣味…映画鑑賞・ドライブ
- ◆ 好きな食べ物…チョコバナナ

小宮山 未来

- 職種：看護師
- 所属：クレル病棟
- ◆ 好きな食べ物…生肉
- ◆ 好きな場所…布団
- ◆ 好きな有名人…堂本剛
菅田将暉

堀内 園香

- 職種：介護士
- 所属：ブリエ病棟
- ◆ 好きな色…オレンジ
- ◆ 好きな場所…新大久保
- ◆ 抱負…早く仕事を覚えて頑張りたいです。

万華鏡

薬剤師になってウン十年。薬剤師ってどんな人？その答えを探してみました。私見です。

山梨県の薬剤師の中で一番有名な薬剤師は、竹内直子さんだと思います。ご存知ですか？多くの少女を熱狂させたセータームーンの作者です。セーラーマーキュリーのセリフの随所に、薬剤師知識が出てきます。つぎに中高年にお馴染みの薬剤師は、横溝正史でしょう。彼の作品の金田一耕助シリーズは一世を風靡しました。さらに

世界に目を向けると、ミステリーの女王、アガサクリスティがいます。実は、彼女の作品には毒殺が多く、青酸カリ、モルヒネ、ジギトキシン、ストリキニーネと多岐にわたります。さすがです。

女性の味方、マスカラの発明者も薬剤師です。妹のメイベルの恋の成就のためにマスカラを作りまして残っています。夏に飲みたいコカ・コーラとペプシコーラもそれぞれ違う薬剤師が発明しました。コカ・コーラは頭痛薬、ペプシコーラは消化不良の薬として売り出されたようです。(もちろん、今と成分は異なります)

音楽では、ケツメイシというバンドをご存知でしょうか。メンバーが薬剤師です。ケツメイシという

名前は薬草の決明子に由来しているとか。ヨツカンサンという名前の高齢者バンドが誕生しても楽しいかもしれません。

最後に私の同窓の大先輩である詩人の茨木のり子さんを挙げておきましょう。教科書にも取り上げられていますので、ご存知の方も多いかも知れません。凛としてですが、美しいその作風は、現代詩の長女とも言われています。「私が一番きれいだったとき」「自分の感受性くらい」などが代表作でしょうか。

最近、いろいろなことに疲れると、作品を読み返しては、大先輩に励まされたり、叱られたりしています。「自分の感受性くらい自分で守ればかものよ」と。

メディカルサポート部 竹林 幸子

私が社交ダンスを始めたのは十数年前。町の広報誌に載っていた「初級5回コース」に応募した事がきっかけです。その日から私は社交ダンスに夢中になりました。

見た目の華やかさに反した踊りのハードさ。ラテン、モダンと合わせて十種目ある複雑さ。ペアで息を合わせ難し。そんなところに心が奪われたのでしょうか。主人とペアを組み競技を始めてからは、目の色を変え努力するようにもなりました。

社交ダンスを始めて良かったこと。

私の趣味

先ずは、ドレス作りの楽しさを覚えたこと。思い通りに仕上がったドレスを着て踊った時の喜びと言ったら。

次に、努力が実を結び、ラテン、モダン、両種目ともにA級へ昇級したこと。今では子供達もペアを組み、ダンスを始めます。時にはパーティーで四人のフォーメーションを披露したり、時には地元の盆ダンスや文化祭に貢献したりと、家族でも楽しんでます。

関西老人保健センター 望月 貴子

こちら編集室

今年も早いもので半年が過ぎました。世の中は新型コロナの影響で、日常生活をはじめ様々な所で今まで当たり前だったことに変化を求められておりますが、個人的には新しく吸収しなければならぬことが多く、なかなか自分のことを見つめなおすことが出来ないまま半年が過ぎてしまいました。

本の紹介ページではないのですが、慌ただしく過ぎていった上半期で読んだ本の中で心に残っている、印象的な一文を紹介いたします。

とある辞典によれば「ひま」はレジャーとしての暇ではなく、「日間」、日の光の差し込む間のこと。私たちの心が、働くことでビッシリ詰まっている時、そこには日の光が差し込む隙間がありません。忙しさには、字が示すように、心を亡ぼし、ゆとりを失わせる危険が伴います。

この一文を読んだ時、どんなに忙しくてもポイントポイントでは数秒立ち止まってよく考えようと改めましたがなかなか直ぐには改めることは出来ず日々反省です。

色々なことに追われても、自分を労わる・見つめ直す「日間」を持つて心のゆとりを持って下半期過ごしていければなあと思っております。

夏を迎えるにあたり、今年はずいぶん外出時にマスク着用の機会が多いと思いますが、熱中症に気を付けることも意識したいです。

【たまや】

今月の予定 7月

1日 褥瘡・NST委員会
 13日 労働衛生委員会
 14日 行動制限最小化委員会

わが家のペット

C病棟看護師
眞田さんのペットです♪



4歳の男の子です。
名前はからあげです。



おあしす広場

今月もおあしすに
素敵な作品が寄せられました。

自立とは いかか 如何なものか と 問いにけり
今福 和人

梅挽ぎの キャタツに 登り 梅ほおり
大森真知子

休校の解除に 笑顔五月晴
カナメ

盛夏には 暑さ伺い かもめくる
恵風

開店に上がる 煙火や五月晴
塚原 光明

ガンを克服した
隣の部屋の 男子かな！
羽村 茂

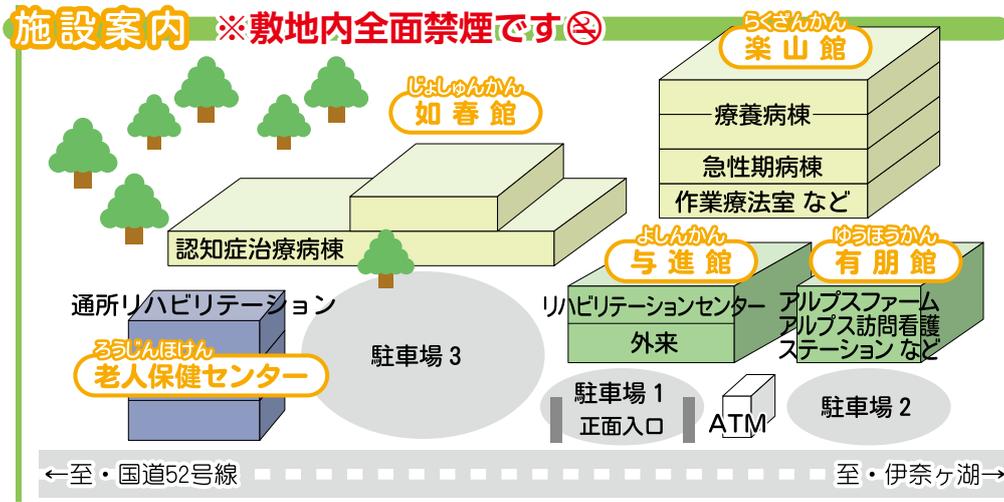
暑い日に 水遊びして 虹が出る
渡辺 あき

※掲載は五十音順です。

アルプス訪問看護ステーションからのお知らせ

令和2年5月16日に、アルプス訪問看護ステーションが如春館2階から有朋館1階に引っ越しました。お越しの際はお間違いの無いようお気をつけください。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です



5ヶせんかん 楽山館
療養病棟
急性期病棟
作業療法室 など

4ヶせんかん 如春館
認知症治療病棟

3ヶせんかん 与進館
リハビリテーションセンター
外来

2ヶせんかん 有朋館
アルプスファーム
アルプス訪問看護ステーション など

通所リハビリテーション
老人保健センター

駐車場 3
駐車場 1 正面入口 ATM
駐車場 2

←至・国道52号線 至・伊奈ヶ湖→

- 交通案内**
- JR中央線
甲府駅より車で40分
 - JR身延線
東花輪駅より車で15分
 - 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
 - 中部横断道
南アルプスICより車で5分
 - 山交バス
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き
小笠原下仲町バス停徒歩5分